

1. 化学物質等及び会社情報

製品名: GC 耐火塗料

会社名: 株式会社グローケミカル

福井県鯖江市下野田町28-4

電話番号: 0778-62-3158 FAX 番号: 0778-62-3160

2. 危険有害性の要約

GHS 分類:

危険有害性クラス	危険有害性区分
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
発がん性	区分 2
生殖毒性	区分 1B
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2
水生環境有害性 短期(急性)	区分 3

GHS ラベル要素:

絵表示:



注意喚起語:	危険
危険有害性情報:	H318 重篤な眼の損傷 H351 発がんのおそれの疑い H360 生殖能または胎児への悪影響のおそれ H371 臓器の障害のおそれ H373 長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害のおそれ H402 水生生物に有害
安全対策:	P201 使用前に取扱説明書を入手すること。 P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 P260 粉じんを吸入しないこと。 P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 P302 皮膚に付着した場合、よく手を洗うこと。

応急措置:	P302+P350 皮膚に付着した場合:多量の水と石鹼で優しく洗うこと。 P304+P340 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 P305+P351+P338 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。 P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること。 P309+P311 暴露したとき、または気分が悪い時:医師に連絡すること。 P314 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。 P337+P313 眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。 P362 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
保管:	P410+P404+P403+P235+P405 日光から遮断し、容器を密閉して換気の良い冷暗所で保管すること。
廃棄:	P501 廃棄するときは、適用法令、及び製品特性に従い、適切な処理・廃棄施設に 内容物/容器を廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物: 混合物

危険有害成分及び濃度

成分	含有量	化審法	CAS No
水酸化アルミニウム	1~10%	(1)-17	21645-51-2
ペンタエリスリトール	5~15%	(2)-419	126-58-9
アクリル共重合体	40~50%	非公開	非公開
メラミン	5~15%	5-1024	108-78-1
水	10~20%	—	7732-18-5

4. 応急措置

皮膚にかかった場合:	流水と石けんでよく洗い流すこと。保湿クリームを塗ること。汚染された衣類を全て着替えること。
眼に入った場合:	直ちに流水で数分間注意深く洗うこと。必要な場合は医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合:	口をすすぐこと。水を1-2杯飲ませること。無理に吐かせないこと。症状がみられる場合は、医師の診察を受ける。
吸入した場合:	空気の新鮮な場所へ移動させ、不快感が続く場合医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤:	霧状の水、泡、乾燥砂類
使ってはならない消火剤:	高圧水噴射、棒状水、二酸化炭素
特有の危険有害性	火災中に有毒なガスが発生する可能性がある。
特有の消火方法	火災発生場所の周辺には、関係者以外の立ち入りを禁止する。 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 消火活動は、可能な限り風上から行う。 容器、周囲の設備などに散水して冷却する。
消火活動を行うものの特別な 保護具及び予防措置:	保護具を着用すること。 自給式呼吸器を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護 具 及び緊急時措置:	作業には、必ず保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。 必要に応じた換気を確保する。 漏洩区域は、関係者以外の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意事項:	河川、下水、土壤に排出されないように注意する。 海上で薬剤を使用する場合は、運輸省令の規定に適合すること。
封じ込め及び浄化の方法	少量の場合、吸着剤(土・砂・ウェス等)で吸着させ取り除いた後、残りを ウェス、雑巾等によく拭き取る。大量の水で洗い流す。 多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから ドラム等に回収する。
二次災害の防止策	床に漏れた状態のまま放置すると、滑りやすくスリップ事故の原因となるためこまめに処理する。 回収物の収納容器は、内容物の処分が済むまで密封しておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い:	
技術的対策:	本製品を取り扱う際、必ず保護具を着用する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を配置する。
局所排気・全体換気:	換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行う。
注意事項:	火気厳禁。眼及び皮膚への接触を避ける。
安全取扱い注意事項:	容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。 容器を空ける前に内圧を除き、漏れ、溢れ、飛散しないようにし、且つみだりに蒸気を発生させない。

酸との接触を避ける。

使用するときには飲食又は喫煙をしないこと。

吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護具を着用し、出来るだけ風上から作業を行う。

取り扱い後は、手、顔などをよく洗い、うがいをする。

保管:**技術的対策:**

保管場所は、製品が汚染されないよう清潔にする。

保管場所は、採光と換気装置を設置する。

安全な保管条件:

直射日光や高温多湿を避ける。

容器を密閉して冷暗所に保管する。

凍結厳禁

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策:

作業場所の近辺に洗眼器およびシャワーを設けること。

粉塵が発生する機械や場所には、適切な排気装置を設置する。

管理濃度:

設定されていない

許容濃度:

設定されていない

保護具:**呼吸器用の保護具:**

ミストなどの吸入を妨げるマスクを着用する。

手の保護具:

保護手袋

目の保護具:

安全ゴーグル、保護眼鏡

皮膚および身体の保護具:**衛生対策:**

使用するときには飲食又は喫煙をしない。

取り扱い後は、よく手を洗う。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

9. 物理的及び科学的性質

物理的状態:	液状	色:	乳白色
臭い:	ごく僅か	pH:	7.1 - 7.9
沸点:	データなし	比重(相対密度):	1.35 - 1.50 (25°C/代表値)
蒸気圧:	データなし	引火点:	データなし
爆発範囲(下限):	データなし	爆発範囲(上限):	データなし
水への溶解度:	水によく溶ける	自然発火点:	データなし
オクタノール/水分配係数:	データなし	分解速度:	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性:

通常の手扱いで安定

危険有害反応可能性:	自己反応性なし
避けるべき条件:	日光、熱、高温状態
混触危険物質:	情報は得られていない
危険有害な分解生成物:	当該品は燃えないが塗膜などが燃えた場合、一酸化炭素など

11. 有害性情報

急性毒性(経口):	区分5 ラット LD50 3,161mg/kg
急性毒性(経皮):	情報は得られていない
皮膚腐食性/刺激性:	情報は得られていない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	情報は得られていない
呼吸器又は皮膚感受性:	情報は得られていない
皮膚感受性:	情報は得られていない
生殖細胞変異原性:	情報は得られていない
発がん性:	情報は得られていない
生殖毒性:	情報は得られていない
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	情報は得られていない
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	情報は得られていない
吸引性呼吸器有害性:	情報は得られていない

12. 環境影響情報

漏洩、廃棄などの際は、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。

[メラミン]

急性毒性

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): > 3,000 mg/l
曝露時間: 96h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 200 mg/l
曝露時間: 48h

藻類/水生植物に対する毒性 : ErC50 (Selenastrum capricornutum (緑藻)): 325 mg/l
曝露時間: 96h
NOEC (Selenastrum capricornutum (緑藻)): 98 mg/l
曝露時間: 96 h

長期間毒性

魚毒性 (慢性毒性): NOEC (Pimephales promelas (ファットヘッドミノー)): >= 5.1 mg/l
曝露時間: 36d

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性): NOEC (Daphnia magna (オオミジンコ)): >= 11 mg/l
曝露時間: 21d

残留性と分解性:	データなし
生態蓄積性:	データなし
水性環境急性有毒性:	データなし
土壌中の移動性:	データなし

13. 廃棄上の注意

推奨廃棄方法:	廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理を委託する。 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。 排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか、処理を委託すること。
---------	--

14. 輸送上の注意

Marine transport IMDG:	危険物には該当しない。
Air transport IATA:	危険物には該当しない。
国内輸送規制:	陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合は定められている運送方法に従う。 海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。 空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法:	該当しない
消防法:	該当しない
毒物及び劇物取締法:	該当しない
PRTR 法:	第一種指定化学物質 1, 3, 5-トリアジン-2, 4, 6-トリアミン
水質汚濁防止法:	第2条第4項 指定物質 物質番号44 アルミニウム及びその化合物

16. その他の情報

注意: この安全性データシートは日本工業規格 (JIS: Z 7253) に基づいて作成しており、日本の法律にのみ則った情報を提供しております。他の管轄地域又は国の実 体法または輸出法に関しては、いかなる種類の表明又は保証も行いません。ここに提供している情報が他の管轄地域の実質的な輸出又はその他の法令に準拠して いることを輸出前に確認して下さい。ご不明な点がございましたら当社にお問い合わせ下さい。